

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域資源を活用した「大芝高原総合ネイチャーアクティビティイベント」事業
事業主体 (連絡先)	大芝高原総合ネイチャーアクティビティ実行委員会 0265-98-6640
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,915,228円

事業内容

- ◆スラックラインフェスティバル
初開催。大芝高原にて初開催。初心者講座やプロによるデモ、5種の様々なラインを張り実施した。
- ◆芝フェス
5種のアクティビティ（を大芝高原～経ヶ岳一帯の自然を生かし実施した。
- ◆ヨガマルシェ
昨年度に引き続き2回目の開催となった。3種類のヨガ講座の他、リラクゼーションブースを設け実施した。
- ◆芝コン in 大芝高原（夏）及び（冬）
夏はスラックライン、ヨガを中心とした街コンを実施し、冬はカラーセラピー、ガレット作り体験を実施した。



【スラックラインフェスティバル】

【目標・ねらい】

- ①交流人口の増加
- ②地域協働の推進

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- スラックラインフェスティバル参加者：65名
 - 芝フェス in 大芝高原参加者：190名
 - 芝コン in 大芝高原（夏）参加者：29名
 - ヨガマルシェ in 南箕輪参加者：148名
 - 芝コン in 大芝高原（冬）参加者：20名
- 多くの方にイベントを通して大芝高原を訪れていたことにより、大芝高原のPRや交流人口の増加につながった。また、地域資源である大芝高原の魅力が再認識・普及された。

※自己評価【B】

【理由】

当初の参加者予定者数の参加があった。満足度調査の結果が良好だった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

地域資源である大芝高原を活用した事業の可能性を認識することができたため、今後各々のアクティビティが自立し継続できるよう改善・工夫を図っていきます。また、大芝高原の既存の施設(温泉、宿泊施設、セラピーロード等)や他事業と連携し、大芝高原や南箕輪村のPR、上伊那管内外からの交流人口の増加を目指します。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある